

2 巻頭言

特集論文

6 現在、即興、流れの詩学

—現代アメリカ文学の弱さと愛おしさについて

加藤雄二

21 自己の翻訳可能性をめぐる試論

—自分自身を説明できない主体についてのタラル・アサドと

島蘭進の議論を結ぶ

丸山空大

38 「ドイツ的とは何か？」

—ある同時代的な現象について

山口裕之

特集エッセイ・随筆

56 小説家「うさぎ」の誕生と手書き小説のはじまり

—ポル・ポト政権崩壊後に文学を甦らせ育んだもの—

岡田知子

自由論文

65 キロンボとアフロブラジル文学

—カルロス・ジ・アスンサオンとオリヴェイラ・シウヴェイラの詩を通して—

武田千香

93 『正解主義に抗うボーカロイドアート：ボカロ P・r-906 と考える多文化共生を拓く対話の可能性』

田島充士・r-906・山本登志哉

報告 (2024 年活動報告)

119 愛知県芸術劇場 ダンス・スコール特別講座シンポジウム

「踊る文字—アヴァンギャルドが見た文字と身体」

(山口庸子)

123 (一社) 日本詩人クラブ 10 月例会〈国際交流〉プログラム

言の葉を紡ぎ自由を希求する

—ペルシア詩人たちからのメッセージ

(田代智恵子)

127 ペルシア語読書会

「Dr. デフガーニーと読む

ルーミー著『精神的マスナヴィー』及び
公開講演会「ペルシアの抒情詩」

(田代智恵子)

131 ユーリー・オレーシャ生誕 125 周年記念連続講演 第 1 回

児童文学『三人のふとつちよ』の表と裏：
作品完成 100 周年記念

(古宮路子)

134 ワークショップ

「核をめぐる文学的想像力」

(橋本雄一)

書評

138 監修 田島充士 編著 藤倉憲一・武元康明

『TAKT 授業のデザイン

批判的対話がつむぐ笑顔の教室』

森本信也

143 柴田勝二著

『劇作家三島由紀夫—「お芝居」のなかの告白』

友常勉

147 編集後記